

## 定期報告

2011年5月20日

天候:曇り

温度:外20°C 内24°C 湿度:40°C 風:微風

放射線量:0.09  $\mu$  Sv/h:持参線量計 PalmRAD Dosimeter Model 1621M(BNC)

食事 朝:ご飯、野菜炒め、味噌汁、りんご

昼:お好み焼き、おにぎり、フルーツ入りヨーグルト、お茶

夜:ご飯、ブタキムチ、さんまトースト、チキチキボーン

氏名:中嶋 優太(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

07:00 本部出発

09:00 東和IC通過

11:00 大槌高校到着

11:30 診療を終えた藤川医師チームにご挨拶

(藤川医師、曾我看護師、見年代看護師、柏崎事務担当)

西村薬剤師隊とも合流

愛知県保健師チームにご挨拶(代表 幾田保健師)

心のケアチーム 森川医師にご挨拶

12:00 青森チーム10名で昼食

12:30 西村・石山薬剤師より引継ぎ

13:00 午後診療開始

14:00 つくし薬局から調剤済み薬品搬入

本日受付分の救護所外処方せんをお渡し

15:00 薬の受け取りに患者様来局

16:00 午後診療終了

16:10 藤川医師チームと釜石市内へ出発

(初日ということで藤川医師のご厚意で、曾我看護師運転する医療チームの車にお世話になった)

16:45 釜石到着

17:00 本内薬剤師、中嶋はシープラザ釜石へ釜石災害対策会議に参加

八木橋総務と葛西総務は食料の買い出しへ

対策本部中田薬剤師に医薬品を発注

17:50 シーガリアマリンで入浴

18:50 大槌高校帰着

夕食開始、歓談

20:00 体調不良を訴えた患者が時間外受診

藤川医師、見年代看護師、中嶋で対応

22:00 消灯就寝

## 引き継ぎ事項

### 1. 業務の流れを確認

患者受付→診察→救護所外処方せん発行若しくは救護所内調剤→投薬までの流れ

- ・新患の基本情報登録(パソコンに入力)
- ・看護師会が置いて行った台帳に受診患者対応状況の記録
- ・患者情報、救護所外処方箋の発行状況の把握
- ・在庫医薬品の管理、把握
- ・調剤、薬袋作成、投薬の流れ
- ・つくし薬局からの調剤済み医薬品の対応
- ・救護所外処方せんの取り扱い、つくし薬局への調剤依頼の方法
- ・診療時間終了後の救急対応方法

### 2. 避難所での救急箱設置に向けた取り組み

### 3. 救護所内の診察室、青森チーム宿泊所鍵の管理の仕方

## その他

### 釜石災害対策会議にて

釜石、大槌の避難所全体を通じて救急を必要とする患者は発生しておらず、急性上気道炎、慢性疾患へのフォローが主となっている。先日までインフルエンザが数名発症した避難所も、平熱 48 時間持続を確認したため隔離部屋から一般避難所へ移し、終息方向にあるとの説明があった。その他大きな患者動向の変化はなし。

眼科、耳鼻科の専門医が少ないとのことで、釜石市の耳鼻咽喉科、眼科を併設する開業医を紹介することを確認。

### 大槌高校診療所

藤川医師の印象では、保険証が無いからとの理由で受診した方、地元医療機関が始まっていることを知らなかった、どこでやっているのかわからない患者がまだ多いとのこと。

保険証がなくても地元医療機関を受診できること、今でも無料で医療が受けられることを説明する必要がある。

また、西村隊が残してくれた医療機関の写真付マップを活用したり、医療チーム全員で近隣医療機関を紹介したりできるように、明日以降合流する角田医師チームとの情報共有も必要である。

## 救急箱医薬品の管理

医療チームが撤退した後も避難所内で管理ができるように方法の検討が必要。  
OTC(一般用医薬品)の使用方法を簡略化したリスト作成を西村隊から引き継いだ。  
その他にも常備薬として持ち帰らず、「必要な時に必要な分だけ」使用するよう管理していかなければならない。今後更に責任者三浦さん、自治会長さんなどと話し合う必要がある。

氏名:本内 孝典(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

- 07:00 本部出発。たくさんの社員に見送りに来ていただいた。  
ハンドルを握る八木橋主任の眼差しが熱い。
- 09:00 東和 IC 通過。目指す大槌高校はここからさらに90km
- 11:00 予定より少し早めに大槌高校に到着。  
拠点となる2階物理学教室へ。診察を終えた藤川医師チームへご挨拶。  
その後、愛知県保健師幾田さん、心のケアチーム森川医師にご挨拶。
- 12:00 藤川医師チームと昼食。  
お好み焼きとおにぎりを食べながらお話を聞く。
- 12:30 西村・石山薬剤師より引継ぎ。  
救護所、薬品倉庫の管理状況の概要。大槌高校の案内など。  
避難所責任者、三浦さんにもご挨拶。
- 13:00 午後診療開始。  
調剤の流れは十分に予習していったつもりだったが、慌てることも多かった。  
合間を見ながら中嶋薬剤師の提案で薬局レイアウトを自分たちの使い勝手を考慮した形に変更を試みたが思うように進まずあっという間に時間が過ぎて行った。
- 16:00 診療終了。  
本日は带状疱疹を訴える方がおられたが抗ウイルス剤はアラセナ軟膏しか在庫がなく、在庫不足で治療に制限がある状況に歯がゆさも感じた。
- 16:00 藤川医師チームと釜石市内へ出発。中嶋、本内はシープラザ釜石へ。  
カンファレンスに参加。八木橋・葛西総務は食料の買い出しへ。
- 17:00 シープラザ釜石にて災害対策カンファレンスに参加。  
カンファレンスに参加しないチームも複数あるようだ。  
藤川医師チームの看護師曾我さんが大槌高校避難所用の血圧計と体重計を対策本部より譲渡された。
- 17:50 シーガリアマリンで入浴。初日から入浴ができた。  
ライフラインの復旧は支援をする人々の作業環境も改善してくれる。
- 18:50 大槌高校帰着  
藤川医師チームが用意してくれた夕食と当社チームが購入した食品で夕食。  
それぞれの話で和やかに歓談。
- 20:00 体調不良を訴えた患者が時間外受診。風邪様症状を訴えた。
- 22:00 消灯就寝

その他

避難所の救急箱の管理について、今後も責任者三浦さんと話し合う必要があるという話にな

った。

急性上気道炎などの症状の患者が多いので咳止めが不足しがちである。今後も薬品管理には尽力しなくてはならない。

避難所生活が長引くことのストレスと、寒暖の差が激しい 5 月の時期は体調を崩しがちであるため、带状疱疹やヘルペスなどの患者の増加もあるかもしれない。

現在、内服も注射も抗ウイルス薬がないので1種類でもあったほうがいただろうと感じた。

氏名:八木橋 郁夫(総務担当)

体調:良好

行動日誌

07:00 本部出発。

11:00 大槌高校に到着。即、葛西主任の昼食準備を手伝った。

診療を終えた藤川医師チームへご挨拶。

その後、愛知県保健師幾田さん、心のケアチーム森川医師にご挨拶。

12:00 藤川医師チームと昼食。

お好み焼き・おにぎりを食べた。

12:30 弘前記念病院の患者様と院長先生から託されたりんご 3 箱・米 1 箱・ジュース 1 箱を給食室責任者の佐藤さんへ渡した。給食室の職員さんと写真を撮った。

13:00 葛西総務と被災地の視察と診療所 4 カ所の確認

16:00 診療終了。

16:00 松原医師チームと釜石市内へ出発。

中嶋薬剤師、本内薬剤師は、シープラザ釜石へ。カンファレンスに参加。葛西主任と食料の調達。

17:50 シーガリアマリンで入浴

18:50 大槌高校帰着

19:00 夕食

大槌町へ向かう途中の釜石市から被災の現実を目にし、復興が進んでいるとはいえ津波による被害を見ると脅威を感じた。

目的地の大槌高校に到着し葛西総務より、総務としての心構え・業務内容の引き継ぎをした。明日はむつ市の角田医師チームが藤川医師チームと入れ替わるので、青森チームとしてうまくできるように頑張りたい。

氏名:葛西 豊誠 (総務担当)

体調:良好

行動日誌

06:00 起床

06:30 朝食準備

07:00 朝食

08:00 町田チーム朝のミーティング

08:45 診療所ミーティング

09:00 大槌高校周辺の土採取

10:00 昼食準備、掃除

11:30 中嶋隊を出迎え

12:00 藤川医師チームと昼食。

12:30 りんご 3 箱・米 1 箱・ジュース 1 箱を給食室責任者の佐藤さんへ  
給食室の職員さん撮影

13:00 八木橋総務へ引き継ぎ

14:00 八木橋総務、曾我看護師と現地視察

16:00 大槌高校着

16:20 釜石へ出発 総務は食材の調達

18:50 大槌高校帰着

19:00 夕食

滞在が一日延長となった。

引き継ぎの心配もあったので、よかった。

役に立てるかわからないが、現地の土を採った。

土採取 ①建物解体跡地の土

②河川の近く

③民家、枯れた庭木の土

④畑のヘドロの下の土

大槌高校の近くで、野菜苗を売っている個人商店を見つけた。

総務として、医師、看護師、薬剤師の後方支援を頑張った。